

平成30年度 事業報告書

第18期(2018/7/1～2019/6/30)

特定非営利活動法人 だんだんの樹

(認定NPO法人)

1 事業活動方針による活動報告(法人全体)

来年4月、だんだんの樹は設立20周年を迎えます。平成13年7月にNPO法人格を取得して以来、3つの介護保険事業と障害者支援事業それに地域交流拠点「コミュニティだんだん」の活動を合わせて、合計5つの事業を推進してきました。

これらの事業は、「たとえ身体が不自由になっても、安心して住み慣れた地域で最期まで過ごしてもらえよう、個々の利用者様の気持ちに寄り添いながら、できうる限りのお手伝いをさせていただく」というだんだんの樹の理念のもと月日を重ねてきたわけです。

そしてそれを株式会社でもなく、社会福祉法人でもなく NPO法人として実践していく事の意味は、「法人理念を全員で共有し、職員ひとり一人が自覚を持って行動して事業を推進していく」ということです。これは、「各自の思いを実現できる職場」であるとも言えられます。

また、だんだんの樹が20年にわたって事業継続できてきた理由、あるいは強みは何なのかと考えたとき、色々考えられると思いますが、私は一番に「一緒に働いてきた仲間との出逢い」をあげたいと思います。16期総会時から始めた永年勤続表彰からもわかるように、10年以上勤務の職員が8名いますし、来年4月には小規模だんだん開設10周年を迎えることもあり、さらに増えます。そして言うまでもなく、必要としている時期に新たに仲間に加わってくれた職員の存在が、継続の大きな力となっているのは忘れるわけにいかない大切な事実です。

だんだんの樹では、月1回事業推進会議(=理事会)を開催し、各事業の管理者が一堂に会して収支のこと、抱えている問題、今後に向けての事業のあり方等について意見交換しています。日々の事業運営はその決定に基づいてなされているわけです。

しかしながら、世の中は常に変化しています。だんだんの樹でも日々の業務内容、働き方、各自の思い等が変化していくのは当たり前だと思いますし、それを一番実感しているのは現場にいる職員の皆様でしょう。事業推進会議の決定が違う方向を向いていると気がついたとき、そんなときには、全員で話し合っていたらと思います。そして次の10年に向けてより働きやすい職場を目指して共に進んでいきましょう。

(理事長：服部 恵津子記)

2 事業収支に関する報告（第16～18期決算報告書からの抜粋） 単位円

(1) 収入の部		(18期)	(17期)	(16期)
事業収入	小規模多機能	60,146,139	64,873,881	62,189,208
	訪問介護（障害関係他含む）	29,232,652	31,849,139	32,406,484
	居宅介護支援（認定調査含む）	9,725,646	9,934,658	8,692,250
	コミュニティ（補助金・助成金含む）	9,670,433	8,668,143	6,801,827
その他収入	寄付金	756,855	1,093,566	917,366
	その他収入	509,505	976,311	1,150,841
(合計)		110,041,230	117,395,698	112,157,976
(前年比)		6.3%減	4.7%増	19.4%増

(2) 費用の部		(18期)	(17期)	(16期)
事業経費	給料手当て	76,771,878	78,157,234	74,974,970
	法定福利費	7,375,331	8,308,504	7,499,234
	旅費交通費	1,371,409	1,857,633	1,990,414
	福利厚生費	905,800	697,593	472,471
	地代家賃	8,924,136	8,924,136	8,821,276
	水道光熱費	1,883,426	1,792,087	1,814,963
	消耗品費	1,121,508	1,558,602	1,355,057
	通信費	951,802	961,652	924,997
	食材費	3,539,359	3,785,271	3,816,336
	減価償却費	2,619,414	3,424,178	3,043,611
	保険料	1,087,396	1,188,075	1,597,519
	車両費	906,934	618,718	1,072,173
	その他	3,009,857	3,412,108	2,700,089
(合計)		110,468,250	114,685,791	110,083,110
(前年比)		3.7%減	4.2%増	10.8%増

(3) 事業収支の部		(18期)	(17期)	(16期)
営業利益		△2,411,796	338,030	△2,203,341
営業外収益等（寄付金含む）		1,586,360	2,059,877	1,788,206
横浜市消防設備補助金収入（16期）		—	—	4,067,000
助成金収入（日本財団：Nボックス）		—	—	630,000
助成金収入（コミュニティだんだん分）		500,000	300,000	2,010,000
営業外費用		△27,084	△702,499	△2,194,316
法人税・事業税等支払い分		△74,500	△74,500	△74,500
当期純利益		△427,020	1,920,908	4,023,049

(4) 貸借対照表 (令和元年 6 月 30 日現在)

資産の部 (合計¥54,543,779)		純資産・負債の部 (合計¥54,543,779)	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】計	25,272,985	【流動負債】計	11,981,801
現金・預金	9,822,762	借入金	5,000,000
未収入金	14,442,587	未払い費用	6,692,340
前払費用	977,906	その他	289,461
その他	29,730	純資産の部 (正味財産)	
【固定資産】計	29,270,794	【資本】計	42,561,978
建物	22,310,132		
建物付属設備	5,599,086		
車両運搬具	166,462		
その他敷金等	1,195,114		

(5) 福利厚生費の内訳 (18期年間支出) 合計¥1,195,533

退職金制度 (中退共掛け金)	403,000	(12人)	*18期は半額補助あり
福利厚生 (ハマふれんど加入)	186,000	(372人)	*給付金 110,000 有り
健康診断補助	133,776	(23人)	
インフルエンザ補助	76,100	(29人)	
研修費	179,733		
ランチ割引			*小規模、コミュニティ
懇親会・給湯室のお茶代等	186,924		
弔慰金等	30,000	(5人)	*永年勤続者は無し

(6) だんだんの樹常勤換算後の職員一人あたりの年収について

18期給与支給金額	76,771,878 円	… ①
職員総数	45 人 (常勤 10 人、パート 35 人)	
常勤換算後の職員数	24.3 人	… ②
常勤換算後の年収 (①÷②)	3,159,336 円	<賞与も含めた年間平均給与> …… ③

注1: 常勤換算とは、パート職員の合計年間勤務時間を常勤年間勤務時間で除した数字です。

注2: だんだんの樹では、全職員の賞与も含めた年間平均年収は上記③の通りとなっています。

実際には、職種 (事務、ケアマネ、看護師、ワーカー等) 及び、役職 (管理者、リーダー等) により手当等が加算されていますので、それぞれ変わってきます。

来年4月の給与改定に向けて、それぞれの職種、役職等による報酬内容を提示したいと考えています。

3 各事業内容の報告

(1) 訪問介護（定款第5条第1号及び3号）

＜平成30年7月～令和元年6月の実績＞…介護予防訪問介護を含む

述べ利用者数	平均介護度	述べ従業員（兼務あり）	月平均売上げ
762名（63名/月） ⇒41名減	（介護） 2.3	233人（19人/月） ⇒18名減	195万円 ⇒22万減
事業報告事項	① 特定事業所加算（Ⅱ）取得（10%割増し） ② 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）を取得し、処遇改善実施 ③ 情報公表調査、利用者満足度調査実施		

ヘルパーの退職に伴い、利用者数も減少した一年でした。ですが振り返ってみると、3人いるサービス提供責任者が、一人ひとりの利用者様に余裕を持って接することができる人数になってきているとも言えます。今後も現状の利用者数を維持し、それぞれのご利用者様の状態やご希望に添った、きめ細かい支援をしていきます。

また、引き続きヘルパー個別の目標を設定し、研修参加、定例会等で自己研鑽にも務めていきたいと考えています。（中西）

(2) 障害者総合支援法に基づく活動（定款第5条第2号及び3号）

＜平成30年7月～令和元年6月の実績＞

述べ利用者数		述べ従業員（兼務あり）	月平均売上げ
126名（10名/月） ⇒年当たり33人増		訪問介護と重複	45万 ⇒3万減

今年度の利用者数は、終了2名、新規2名と変化はありませんでしたが、個々の利用回数が徐々に増える傾向にあります。訪問介護のヘルパーが兼務している為これ以上の利用者数を増やすことは難しい状況です。

これからも各ご利用者様が不安なく充実した在宅生活を送れるよう支援していきたいと思っております。（櫻井）

(3) 居宅介護支援（定款第5条第1号）

＜平成30年7月～令和元年6月の実績＞…介護予防支援委託、認定調査を含む

述べ利用者数（支援委託含む）	平均介護度	述べ従業員（兼務あり）	月平均売上げ
864名（72名/月） ⇒80名減	（介護） 2.4	62人（5人/月） ⇒5月より1名増員	80万円 ⇒3万減
事業報告事項	① 特定事業所集中減算報告（秋・春） ② 情報公表調査、利用者満足度調査実施		

地域の中で自立支援に向けてきめ細かいプランで対応し、モニタリング、評価を大切にしてきました。さらに研修等で自己研鑽に努めて参りました。

また、休暇等で担当が勤務していない時でもご利用者様に不利益が生じない様に職員間で情報を共有し、対応できるように心がけています。（渡辺）

(4) 小規模多機能型居宅介護（定款第5条第1号）小規模多機能事業所だんだん
 18年度は、月の平均登録者数が19.5名と、前年度よりも約1名減りました。
 従って通いの延べ人数は328名減と大きく減少しましたが、訪問回数は加算に必要な月200件を年間通して確保することが出来ました。

また、職員の78%が介護福祉士の資格を取得していて、『体制強化加算Iイ』取得に必要な介護福祉士数50%を大きく上回っています。

支援内容としては、介護度の軽いご利用者様が増えたことで、家事や趣味活動などその方の日常生活を応援する機会も増えました。これからもご利用者様がいつまでも地域の一員としてその方らしい生活が継続できるよう、あたりまえの日常を支えています。

(事業報告事項①)

- ・地震想定避難訓練 2019.1.25
- ・夜間想定避難訓練 2019.6.27
- ・外部評価、情報公表調査、利用者満足度調査実施
- ・運営推進会議の実施（8/22、10/17、12/19、2/20、4/17、6/19・・・年6回）
- ・泉区社協サマースクールボランティア体験受け入れ
- ・介護職員処遇改善加算（I）を取得し、処遇改善を実施

(事業報告事項②) * () は昨年度

延べ利用者数 (名)	平均介護度	延べ職員数 (名)
234 (245)	2.3 (2.4)	186 (202)
月平均19.5		月平均15.5名
17~22で推移	2.1~2.5で推移	内看護師36(36)

(ご利用者サービス利用状況) * () は昨年度

	通い	訪問	泊り
延べ人数	3087 (3415)	3028 (3173)	604 (497)
月平均	257 (285)	252 (264)	50 (41)

(5)

30年度コミュニティだんだん実績報告 <法人18定期総会>

ビジョン

- ◎『年を重ねても誰もが健康で楽しく輝いて暮らせる地域』を目指し、地域の方が主役となって活動できる場を作ります。
- ◎介護予防・健康づくり事業を通して【健康寿命を延ばす活動】を地域の方と作り上げ定着させていきます。
- ◎“お互いさまの助け合いの輪”を広げていくための【風土づくり】を通して、助け合い・支えあう地域を目指します。

主な具体的活動と参加者	2018年			2019年			合計						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月
① 夢カフェ運営 (月曜日～金曜日)	34	27	35	46	41	29	25	30	30	30	27	34	388*
② 夢クック	0	2		1	6	2	5	6	4	0	3	2	31
③ 介護予防事業運営 (水・木曜日)	143	127	129	162	153	129	130	134	139	167	141	166	1720
(火曜日)	255	208	245	311	264	209	264	242	278	281	281	252	3090
(第2金曜日)	29	21	31	40	33	22	30	33	31	30	28	35	363*
(第2・4日曜日)													
しゃべり場事業 (第3金曜日)	69	61	64	79	77	48	68	61	63	68	80	71	809
(月・木曜日)	40	22	28	35	32	24	31	31	30	30	27	19	349
(第2月曜日)	4	7	5	5	5	7	6	6	6	4	6	休み	61
(月・木曜日)	8	4	3	5	3	2	7	7	7	8	8	7	69
(随時)						24						23	47
④ 学習支援・子ども食堂	20	休	14	13	11	休	14	12	13	13	14	13	137
⑤ スタンドバル	9	休	8	休	4	6	休	休	6	7	6	4	50
⑥ その他のボランティア	34	36	29	32	49	28	46	39	32	54	38	39	456
⑦ その他の活動	35	24	36	25	33	27	41	45	23	37	44	56	426*
合計	12	13	4	2	7	4	5	5	3	6	6	5	72
	28	7	20	52	34	29	25	20	13	14	20	41	303
	27	14	21	32	21	20	23	21	18	24	27	22	270*
	18	10	11	6	16	19	8	12	17	17	18	11	163
	6	3	3	3	6	5	3	2	4	4	4	4	47*
	22	9	46	13	32	21	38	12	40	23	22	21	299*
	12		47	114	9	7	11	10	757	45	13	20	288 (内VO数)
合計	805	595	779	976	836	662	780	728	862	813	845	9438	1793
夢クック ランチ食	437	358	409	515	481	360	446	464	434	487	483	479	5353

- * オレンジカフェ … 毎月第2金曜日
- * 折り紙・布遊びカフェ … 折り紙毎月第2水曜日・布遊び毎月第2火曜日
- * 各種講座 … ①「人生100年時代を見つめて」H30年10月より毎月1回開催中 ②「布草履づくり」2回 ③朗読・語りの会1回
- * 横浜介護予防・日常生活支援事業(横浜市通所型支援) … ①脳いきいき登録者＝水曜日10名、木曜日13名 ②ラミーキューブ・麻雀登録者＝18名
- * 各種会議 … ①運営推進会議 年9回 ②プロジェクト委員会 年3回 ③クック・カフェ会議 1回 ④クック会議 4回
- * その他の活動 … ①だんだんフェスタ10月 ②プロジェクト委員会の交流会 ③コミュニティ活動報告会3月
- * 来所者数＝延べ9438名、その内のボランティア活動者＝延べ1793名
- * 会員数等(H30/4～31/3) … 利用会員 68名 賛助会員 66名 寄付応援者 45名

(6) 移動サービス (有償運送)

<平成30年7月～令和元年6月の実績>

述べ利用者数	述べ利用回数	述べ従業員 (兼務)	月平均売上げ
84名 (7名/月) ⇒21名減	280回 (23回/月) ⇒39回減	9名 ⇒1名減	3.5万 ⇒1万円減

他事業所からの依頼もありますが、運転者 (ヘルパー) の不足のため、応えられていません。今後も、だんだんの樹のケアマネからの依頼には、出来るだけ応じられるように、努力をしていきたいと思えます。(中西)

(7) 地域支援・ボランティア活動 (定款第5条第4号)

法人主催の行事報告

緑園新春コンサート : 第16回	H31. 1. 12	お客様 166、演奏者 56、ボラ 36 計 258人
春をよろこぶ落語の会 : 第14回	H31. 3. 16	お客様 28、出演者 4、ボラ 11 計 43人

4 職員の意識向上の為の取組み

(1) 外部研修受講状況

事業ごとに研修計画を作成し、実施している

(2) 内部研修

毎月の各事業別スタッフ会議、定例会等にて実施

(3) 各事業定例会開催予定

小規模多機能事業所だんだんスタッフ会議	毎月第4水曜日	17:30～
〃 リーダー会議	随時	
訪問介護・障害者支援	毎月第3水曜日	14:30～
〃 管理者・サ責打合せ	随時	
移動サービス	毎月最終週水曜日	14:30～
コミュニティだんだん	随時	
居宅介護支援	隔月開催	16:00～

毎月それぞれの事業所スタッフが一同に会して行う定例会では、業務内容の共有、介護技術の習得、職員交流等を目的に、各種報告、事例検討、研修等を行ってきた。

(4) 新入社員研修 (5人該当)

18年度は、開催なし

5 組織運営に関する報告

(1) 社員総会

定時社員総会 (社員総数45名)	2018年9月8日(土) (出席23名、委任22名)	・事業報告及び計画について ・理事改選の件 他
---------------------	-------------------------------	----------------------------

(2) 理事会(事業運営会議)

毎月第4木曜日に担当理事と各事業管理者で法人全体の事業運営について話し合いを重ねています。その内容については各事業別定例会等で報告していますが、疑問点等についてスタッフ側からの積極的な発言を期待しています。

(3) 懸案事項とその報告

18期は特に大きな問題を抱えることなく終了することが出来ました。19期に向けても各事業からの計画にもありますように、18期同様これ以上に事業拡大を図ることではなく、今関わっている利用者様との関係性を大事に、一人ひとりに向き合う支援をしていく方向になると考えています。